

6 次代を担う子どもたちが「学び」を通じて夢をいただき、いきいきと成長するまち

■子ども医療事業

【民生費】2億52万円
（保険事業課）

お子さんの健やかな成長を願うとともに、子育て家庭の医療に係る経済的な負担を軽減するため、乳幼児・小学生・中学生が医療機関で受診された場合に支払う自己負担金の一部を助成します。京都府内では受給者証を提示することで直接助成でき、1医療機関あたり1か月200円の自己負担となります。京都府外では、受給者証を利用することができないため、申請により後日の支給となります。



受診の様子

小学生を持つ保護者の就労を支援します

■放課後児童の健全育成事業

【民生費】1億5,185万円
（子ども未来課）

保護者の就労などにより、学校の放課後や土曜日、長期休業期（夏休み等）中に家庭内で保育に欠ける小学校児童を対象に、日常生活や遊びの場を提供する放課後児童クラブを市内10か所で開設します。



網野南放課後児童クラブでの防犯教室の様子

多様化する保育ニーズに応えます

■保育所運営の民間委託

拡充

【民生費】5億9,691万円
（子ども未来課）

保護者の就労等で、保育を必要とする児童の保育を、民間の私立保育所（あみの夢保育園、ゆうかり乳児保育所）に委託します。また、平成28年4月から、保育時間の延長・休日保育など多様化する保育ニーズに応えるため、公立の2保育所（大宮北保育所、こうりゅう保育所）の運営を社会福祉法人に委託するほか、幼保連携型認定こども園（ゆうかり子ども園）に対して、運営に係る費用を支出します。



妊娠から子育てまで、きめ細かな支援を進めます

■子育て世代包括支援センターの設置

新規

【衛生費】471万円
（健康推進課）

妊娠期から子育て期まで、切れ目のないきめ細かな支援を行う拠点として、平成28年4月から健康推進課内に子育て世代包括支援センター『はぐはぐ』を設置し、専任保健師を配置しています。

母子健康手帳の交付をはじめ、妊娠中から子育て期にわたる様々な相談に応じるとともに、安心して出産・育児に臨めるよう、助産師によるマタニティクラスや母乳相談なども実施します。また、地域の子育てネットワークを構築し、「京丹後市で出産、子育てしてよかった」と思えるまちづくりに取り組みます。

■妊娠・出産や子育てのこと、何でもお気軽にご相談ください。

子育て世代包括支援センター『はぐはぐ』
Tel 69-0370



『はぐはぐ』は峰山総合福祉センターの健幸館1階です

病気の回復期にある児童を保育し、就労を支援します

■病後児保育事業

【民生費】444万円
（子ども未来課）

病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援します。

事業の対象者は、市内に居住する満6か月以上の乳児、幼児又は小学校に就学している児童で病気の回復期であるため集団保育が困難で、保護者の就労、傷病等により家庭で保育を受けることが困難な児童です。

- 実施場所：ゆうかり子ども園内（峰山町杉谷地内）
- 職員体制：看護師1人、保育士1人以上
- 実施時間：午前8時から午後6時まで
- 利用料金：1日2,000円（軽減措置あり）
- 休業日：土日及び祝日、12月29日から翌年の1月3日まで



病後児専用の保育室

■教育支援センターの運営

【教育費】915万円
（学校教育課）

教育支援センター「麦わら」では、不登校やその傾向にある児童生徒を対象に、在籍校との連携を図りながら、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等を、一人ひとりの状態に応じて支援しています。あわせて、保護者や教職員を対象とした教育相談業務も行っています。また、カウンセリングの専門家（臨床心理士）による教育相談を月2回実施しています。
○開設場所：峰山織物センター内
○電話番号：69-0625
○開設日：月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
○開設時間：8時30分～16時30分（児童生徒の利用時間は9時～14時）



料理教室で調理する生徒たち

■小中一貫教育の推進

【教育費】831万円
（学校教育課）

「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、小中一貫教育研究推進協議会や学校教育連携専門部会で調査研究を行います。また、平成28年度から全中学校区で小中一貫教育を実施し、学力向上や生徒指導上の諸課題の解決を目指すとともに、将来に夢と希望をもって生き生きと学ぶことのできる子どもの育成を目指します。



児童と生徒がハイタッチしながら挨拶する
「丹後学園あいさつ運動」

■奨学金貸付事業の実施

新規

【教育費】1,000万円
（教育総務課）

従来の給付型奨学金に加え、京丹後市名誉市民・谷口謙氏から寄附を受け設置した基金を活用し、経済的な理由で大学等の進学が困難であって大学等へ進学を希望する学生に対し、貸付型の奨学金を平成28年度から創設します。修学資金や入学支度金の一部として貸付けを行うことで大学等の就学を支援します。



子どもたちの学びを支援します

■学習支援体制の整備

【教育費】3,849万円
（学校教育課）

放課後・土曜日を活用した教育活動や情報メディアを使った学習支援など、学びを支援する機会や仕組みづくりを構築するための実証研究を進めます。また、放課後学習支援を全中学校に拡充するとともに、学習が遅れがちな生徒の学習習慣の確立と基礎学力の向上に活用するため、タブレットや電子黒板等のICT機器を整備します。

- 放課後・土曜日を活用した学習支援体制の整備
- ・小学生放課後学習支援「放課後わくわく自習室」：毎週水曜日
- ・中学生放課後学習支援：平日の放課後（2学期以降で週3回程度）
- ・わくわく学びサタデー：第2土曜日（年間5回程度）
- 情報メディアを使った学習支援体制の整備
- ・市ケーブルテレビ教育番組放送：基礎から学ぶ高校受験数学講座



放課後わくわく自習室の様子

小中学生の国際交流を行います

■児童生徒の国際交流

新規

【教育費】536万円
（学校教育課）

児童生徒が諸外国の文化や伝統を理解し、他国への興味関心を深めることで、語学力の向上や国際感覚を持ちグローバル社会で活躍できる人材育成に繋げるため、小中学生の国際交流事業を実施します。

- 小学生の国際交流
- ・島津小学校とマサチューセッツ州マンチェスター・メモリアル小学校との作品交流、ビデオメッセージの送付など
- 中学生の海外派遣
- ・派遣先：ニュージーランド
- ・派遣期間：平成29年3月下旬（9日間の予定）
- ・派遣対象：中学2年生
- ・その他：募集人数、参加負担金など詳しくは、中学校を通じてお知らせします。

